

宗 務 所 便 り

2014年7月1日発信 No. 25
愛知西教区宗務所長 山田英隆 九拝

謹啓上 時下暑威益盛之候

2014 FIFA Club World Cup ブラジル大会が6月13日から7月14日までの1月間開催されております。世界から32カ国が参加し、世界の人々は日々の熱戦に歓声を上げて応援をしております。心一つに成ることの喜びを感じております。又、日本人サポーターが観戦後、自らが出したスタジアムのゴミ拾いを行った事が話題になりました。文化の違いを感じており、日本人の良き部分を世界の人々が気づいて下さったのだと思いました。

日本代表は厳しい結果となりましたが、素晴らしいゲームを見せていただき感動しました。
頓首敬白

6月の報告

1日	愛知西教『教区報』第44号発行	於、宗務所
2日～3日	無相教会師範会	於、本山
4日	宗議会議員総選挙宣旨発布	於、妙心寺派
10日	本山参拝推進本部会議	於、本山
10日	教区寺院セミナー準備会	於、宗務所
11日～12日	人権擁護推進合同研究会	於、本山
12日	名古屋禅センター坐禅会	於、名古屋・白林寺
12日	教区花園会大会・準備会	於、第10部宗務支所
13日	教区住職研修会・第1回教区寺院セミナー	於、宗務所
13日	無相教会代表者委員会	於、本山
16日	宗議会議員総選挙、立候補・立会人届出期日	於、宗務所
17日	仏教講座開講スクーリング	於、本山
18日	第35回全国教誨師大会	於、名古屋
19日	僧侶育成審議会	於、本山
23日～25日	前堂職法階取得研修会	於、本山
23日～24日	無相教会称号取得講習会・試験	於、本山
24日	月授戒会 (徳授寺 澤田慈明師)	於、瑞泉寺
26日	本山新亡供養 (愛知西教区該当日)	於、本山
30日	連合会反省会	於、犬山市

7月の予定

8日	本山参拝推進委員会	於、本山
10日～11日	第1回全国花園会会長会	於、本山
10日	名古屋禅センター坐禅会	於、名古屋・白林寺
10日	第38期部落解放講座	於、名古屋市公会堂
24日	月授戒会 (耕雲院 服部雅昭師)	於、瑞泉寺
25日	僧侶育成審議会	於、本山
28日	本山集団得度式	於、本山
28日～29日	本山学徒研修会	於、本山
29日～31日	社会事業従事者研修会	於、本山

< 報告 >

◎宗議会議員総選挙結果報告

宗議会議員当選人のご報告

平成26年6月16日、愛知西選挙区の宗議会議員総選挙において選挙規程第144条・145条・第148条により立候補届を受理致しました。

尚、立候補者数が愛知西選挙区の議員定数（2人）と同数でしたので下記候補者を当選人といたしました。選挙規程、第158条により教区内選挙人にお知らせいたします。

当選人（順位は台番順）

1. 〒460-0008 名古屋市中区栄3丁目25-18

台番 1555 別格地 1級

白林寺住職 武山 廣道 師

2. 〒484-0084 犬山市大字犬山字南古券232

台番 1643 準別格地 1級

徳授寺住職 澤田 慈明 師

◎平成26年度人権擁護推進委員・教区人権擁護推進員合同研究会報告

愛知西教区人権擁護推進副員 楽音寺 杉村陽介

今年も6月11日から12日にかけて、妙心寺、花園会館に於いて「本派人権擁護推進員合同研究会」が開催されました。人権擁護推進本部役員をはじめ、各教区から数多くの参加がありました。

「人間の尊さに目覚め、自分の生活も他人の生活も大切にしましょう」という基幹テーマの中、研修テーマである「身近な人権と差別～宗門内の人権問題」について多くのことを学びました。

初日の11日には、身元調査に今、過去帳が利用されているという事実を講師の岩本孝樹師よりお話いただきました。菩提寺の過去帳から、ある程度生まれ育った土地や、家族構成など個人の情報を調べ上げることで、結婚、就職など様々なシーンにおいてその情報が利用され、また差別へとつながっているというお話でした。我々、寺院としても多くの個人情報扱っていることを自覚し、もっと注意深く慎重にこういったことに関わっていかなければいけないと思います。

また、佐々木閑師による、「初期仏教における差別意識」という講義では、仏教の成り立ちから現代にいたるまでの中で、仏教が差別というものにどう関わってきたか、時代と共にどう変わってきたかなど、ここでは語りつくせないぐらい多くの興味深いお話をいただきました。大変、お話が上手く、また聞きたいと思わせる良い講義だったと思います。

12日には、宇野全智師を招いて「人々のこころに向き合うために」というテーマの中、僧侶である我々がもっともっと相手の価値観や気持ちを理解し、人々と向き合っていくために、様々な例題に実際に解答しつつ、それをグループ討議するという形で講義を受けました。悲しみを抱いた人からのお手紙に対する返信や、心理というものをより読み取れるようになるための様々な角度からの心理テストなどを行い、それをグループで討議することによって、自らと異なる価値観や心理に対してどう対応していくのか、といった講義でした。

この世の中から、差別は永遠になくならないのかもしれませんが、しかし、だからこそ我々宗教者というのは、差別というものから目を逸らさずに戦い続ける必要があるのだと思います。宗教者というのは、差別を許さないという言葉や態度を出して然るべき人間であり、またそうしなければならない立場の者でもあるからです。今回の研究会はそのことを再認識することができる大変有意義なものだったと思います。

◎第1回教区寺院セミナー報告

セミナー委員 第7部 新光寺 宮田宗典

去る平成26年6月13日、愛知西教区宗務所（稲沢市圓光寺様）を会所として、本年度第1回目となる寺院セミナーが開催されました。

今回は、一日を通しての研修会ということで、午前は花園大学教員、観音寺住職吉田叡禮師による「中国仏教思想史」の講義が、午後からは慧照院住職吹田良忠師を招き、「梵唄実習」と「法式実習」の研修が行われました。

まず、「中国仏教思想史」の講義においては、吉田師が特定の僧侶の思想をいかにとらえるか、そのスタンスが語られました。すなわち師から弟子へと直接伝えられる教を「時間軸」、同時代人の思想家や宗教家の思想傾向を「空間軸」、そして法系という「宗」。この三点をそれぞれ押さえて考察することによって、人物の思想をより立体的なものとしてとらえるというのが、師の考察の基本であり、本講義の礎となっているとのことでした。

その上で、おもに後漢時代に中国が仏教を受容してから、宋代にいたるまでの僧侶の思想が講義されましたが、本講義の眼目は唐代安史の乱以降の禅の興隆についての解説にありました。唐代以前の天命観、これは名分論的な人生観ともいえると思いますが、これが節度使の軍閥化によって貴族制が崩壊すると、疑義の俎上に乗せられることとなり、ひいては「用き」（はたらき）としての智慧を重視する禅が隆盛を誇るという思想の変遷はとても興味深く拝聴いたしました。

また、つねづね禅宗という宗派は道教的であると個人的に感じていたのですが、本講義においては禅に限らず、中国仏教がいかに道教や神仙思想の影響を強く受けていたかということが解説され、あらためて、日本仏教ひいてはわれわれ僧侶に限らず、日本人の仏教感に影響を与えたかということを考えさせられました。

午後からの梵唄、法式の研修においては、イントロダクションとして、三国時代から始まる梵唄の起こりから、日本への伝来の解説が行われ、つづいて「當」（あたり）や「振り」、「ヲツ」など、梵唄の基本発声法が教示されました。さらには、私たち臨済宗の僧侶が日常的に読誦する般若心経や大悲咒などの経首を研修参加者全員が、実際に声を出して練習をしました。休憩を挟んだあとは、叉手、合掌といった僧侶の基本的な所作を実践と通して学ぶという法式の講習がおこなわれました。現状、私たちの宗門は専門道場ごとに、あるいは地域ごとに、法式の微妙な差異がありますが、本山妙心寺ではどのような所作が正しいとされているのか、これを学べたのは貴重な体験であったと思います。

全体を通して、「一日」という、これまでに比べれば長丁場となった今回のセミナーでしたが、セミナー委員としての立場を離れ、一参加者の視点から申し上げますと、長さを感じない有意義な研修会であったと思います。

怒涛のような時代と社会の変容の中であって、寺院もまた変化を問われる昨今ではありますが、「脚下照顧」の年間テーマのもと、私たちの教えがどこからきたものなのか、そして、私たちは今、何をしているのかということに改めて学び直す良い機会となりました。ともすれば、見た目に派手な活動に心動かされがちですが、泥土の上に大樹が育たないように、まずは自らの足場を見つめ直さねばならない、と襟を正される思いでありました。

改めて、本研修会講師の吉田叡禮師、吹田良忠師の御両師におかれましては、この場を借りて御礼申し上げます。

◎第35回全国教誨師大会

白林寺 武山廣道

去る18日、第35回全国教誨師大会がテーマ「いま、教誨に願われていること」と題し、ウェスティンナゴヤキャッスルにて開催、教区来賓として出席してきました。式典・基調講演 法務省矯正局長 西田 博・「矯正の現状について」、記念講演 教育評論家 水谷 修「夜回り先生、いのちの授業」を拝聴。水谷先生は説得力のある身に染みるいいお話でした。講演中花園大学のことが数回であり、本派の教師も数名参加されていました。

◎本山新亡供養報告

宗務所長

去る6月26日午前10時30分より、本山・法堂にて、花園会本部主催の「新亡供養」が行われた。当日は、山陰西、山陰東、愛知西、愛知東、東京、北関東教区の参加にて、総数552名の参加。愛知西教区からは458名(洗心会381名)参加。江松軒管長猯下導師のもと、新亡供養、管長猯下の法話、常任布教師の法話の後に、微笑殿・花園会館に分かれて昼食を済ませ下山した。

<お願い お知らせ >

◎「部落解放をめざす愛知研修会」第38期部落解放講座ご案内

教区人権擁護推進員 長光寺 奥村文人

7月10日(木) 13:00～ 於 名古屋市公会堂 大ホール

第1部「今でも部落差別はあるんですか」 13:00～14:40 奥田 均(近畿大教授)

第2部「障害者権利条約の批准と障害者差別解消法」 14:55～16:30 佐藤 聡

(DPI(障がい者インターナショナル)日本会議常任委員)

★ 第1部～第5部の推進委員様に 御出席をお願いします。既に御案内は発信済みです。

◎教区災害時連絡網について

去る平成25年10月22日に開催されました、花園会運営委員会・宗務支所長会に提案させていただきました、「教区内緊急時連絡網」を仮称「愛知西教区 災害時連絡網」という形で案を作成しました。災害時には、通信の不通、交通網の寸断が予想されます。その時の情報収集はご自身が歩いていける範囲と判断し、拠点寺院を作成しました。また、報告は各寺院から拠点寺院へ自らが報告、拠点寺院が宗務支所長に報告、宗務支所長が宗務所長に報告という形体です。

小規模の災害の時は速やかに機能できると思いますが、大災害の時は2週間3週間と連絡に時間がかかると思います。情報の収集は、その後の対策、対応に大きく影響しますので皆様の御協力をお願いします。

各部用に案を作成いたしましたので、部内で協議いただき支所長様は8月30日までに変更、訂正などをされました「連絡網」を宗務所に提出下さい。

◎教区花園会女性部研修会 案内状配布と参加者募集のお願い

来る、9月25日(木)午前10時より、午後2時頃まで、名古屋市中区・白林寺において「教区花園会・女性部研修会」を開催いたします。

各部より、女性部会長様を含めて5名以上の参加募集を御願ひいたします。内容は別紙にてご案内します。7月中旬に発信します。

支所長様には案内状の配布、参加者集計をお願いします。9月15日までにまとめていただき、宗務所へ寺院名・参加者氏名・参加費を添えて申し込み下さい。

尚、別紙にて案内状を発送いたします。

日 時 平成26年9月25日(木) 午前10時～午後2時頃まで

場 所 名古屋市中区栄・白林寺

参加費 500円(昼食代)

申 込 圓光寺 FAX 0587-34-4840

◎被兼務寺院調査 並びに責任役員アンケート回収について

5月1日現在、全国で1020ヶ寺。愛知西教区には62ヶ寺の被兼務寺院がございます。今般、「被兼務寺院調査並びに責任役員アンケート」を実施しました。調査の主眼は「被兼務寺院 今後の展望を如何に考えておられるのか?」についてです。

未提出の方は早急に支所長へ提出願ひます。 6/25 宗務所長→6/30 宗務本所(提出)

◎特別布教 開教申し込みについて

9月彼岸会前後の時期に「特別布教」(秋季巡教)を開催致します。昨年の予定表を参考にさせていただきます。宗務支所を通じて7月末日までに宗務所に申し込み下さい。例年開催の御寺院も「申し込み」をお願いします。

新たに開教希望の部内、各御寺院も申し込みをお願い致します。尚、巡教師は1名です。

昨年は9月19日～26日でした。

※ 本年9月25日「花園会女性部研修会」にて午前中の開教は出来ません。

◎『教区報』配布のお願い

平成26年度 愛知西教区『教区報 44号』を発行し、宗務支所から配布をいたします。1,500部印刷。支所長様には各寺院に配付をお願いいたします。配付数は、有住寺院は5冊、兼務寺院は3冊といたします。尚、寺族のおられます被兼務寺院は5冊といたします。支所長様には、各寺院内で閑栖様、副住職様にも各自1冊保存いただきますようにご指導下さい。※各寺院の責任役員様にも必ず配付をして下さるようにご指導下さい。

◎「災害時における支援活動の拠点と避難場所提供のできる寺院調査」について

花園会本部より、「特定非営利団体AMD A」との協力支援のお願い。災害ボランティア活動の一環として、災害時における支援活動の拠点、または避難場所を提供できる寺院がおられましたら同意確認をしていただきご推薦をお願い致します。

尚、詳細なる資料は宗務支所に発信しましたので確認して下さい。

◎前堂職法階取得研修会のお知らせ

教学部

期間 第2回 平成26年9月24日(水)～26日(金)

申し込み 規程の用紙にて、8月20日(水)までに教学部必着

期間 第3回 平成27年2月6日(金)～8日(日)

申し込み 規程の用紙にて、12月19日(金)までに教学部必着

定員 先着30名

費用 2万円

★ 詳細は宗務本所・教学部へ問い合わせ下さい

★ 正法輪6月号9ページを参照下さい。

◎僧堂掛塔予定者学習会開催のお知らせ

教学部

期間 平成26年9月8日(月)～10日(水)

申し込み 規程の用紙を教学部より取り寄せて、7月1日(火)～8月18日(月)までに教学部へ直接送付下さい。

費用 2万円

★ 詳細は宗務本所・教学部へ問い合わせ下さい

★ 正法輪6月号9ページを参照下さい。

次回の予定

期間 平成27年3月6日(金)～8日(日)

◎「法式梵唄講座」のお知らせ

法務部

日時 基礎講座 平成26年7月23日(水) 10:00～15:00

中級講座 平成26年10月4日(土) 10:00～15:00

基礎講座 平成26年11月7日(金) 10:00～15:00

中級講座 平成26年12月8日(月) 8:00～15:00

場所 本山、大方丈、又は微妙殿
費用 2000 円 (資料代、齋座代)
定員 30 名

★詳細は妙心寺法務部へ問い合わせ下さい。
★正法輪 6 月号 9 ページを参照下さい。

参加資格 妙心寺派僧籍保有者 (18 歳以上)

応募方法 FAXにて妙心寺法務部へ連絡
台番、寺院名、住所、氏名、電話番号、FAX番号

◎「初掛塔奨学金」のお知らせ

教学部

平成 25 年度雨安居、並びに雪安居に、僧堂に掛塔された学徒が所属されているご寺院様は、「初掛塔届」を宗務支所、宗務所を通じてご提出下さい。(専用用紙を宗務本所より取り寄せて下さい) 後日、奨学金を送付致します。尚、知客職の法階を有していない方は、同時に請願して下さい。(平成 26 年度掛塔の方は翌年の届になります)

◎スリランカ仏跡巡拝研修のご案内

名古屋禅センター

標記の研修を企画しました、詳細は下記まで問合せ下さい。

期 日 平成 26 年 8 月 25 日(月)～30 日(土) 4泊6日 成田発着

申込み (株)遊路トラベル TEL 03-5725-1898 fax 03-5725-1865

(問合せ) email euro-shigak@deluxe.ocn.ne.jp

◎名古屋禅センター研修会のご案内

主催 名古屋禅センター

何故、私たちは正しく生きられないのでしょうか? 様々な問題を抱え呻吟する現代日本に生きる私たちは、本来、どのような「心の落としどころ」をもち生活してきたのか? 近著『日本人の心の落としどころ』を上梓された著者を招き、それらの問題を広範囲に考える研修をします、布教教化の参考になればと思います。

演 題: 『日本人の心の落としどころと現代人』

講 師: 篠田 暢之 先生 元正眼短大・森林アカデミー教授

日 時: 平成 26 年 7 月 23 日(水) 午後 4 時～6 時

会 場: 名古屋禅センター(白林寺内) 名古屋市中区栄 3 丁目 2 5-18

参加費: 3,000 円

申込方法 住所、寺院名、氏名、電話番号を明記の上、下記宛へ送信

申込先 名古屋禅センター講座受付係 FAX 052 529-2701

Eメール event@nagoya-zen.jp

◎青年僧の会「禅寺一日入門」参加者募集のお願い

来る 8 月 30 日(土)～31 日(日)の 2 日間、一宮・妙興寺を会場に「禅寺一日入門」を開催します。各寺院にポスター、プログラムを配布させて戴きます。ポスターの掲示、参加者の募集の声掛けに協力をお願い申し上げます。申し込みは直接に担当者までお願い致します。

<<平成 26 年度予定>>

8 月 30 日～31 日 青年僧の会「禅寺一日入門」

於、一宮・妙興寺

9 月 12 日(金) 第 2 回教区寺院セミナー

於、名古屋都市センター

9 月 25 日(木) 教区花園会女性部研修会

於、名古屋・白林寺

10 月 23 日(木) 教区花園会運営委員会

於、名古屋都市センター

10月29日(水)	第59回花園会愛知西大会	於、犬山市民文化会館
11月26日(水)	教区寺院セミナー現地研修会	於、京都・万福寺、圓福寺